

町内唯一の高校



迫力いっぱいの男子騎馬戦

県立猪名川高等学校



中橋 弥里

いながわ 特派員報告

私達にとっても身近な、紫合の高台に建つ県立猪名川高等学校(猪名川高校)は、どんな学校なのか皆さんご存知ですか。豊かな自然環境に恵まれた猪名川町で、地域とともに学び、そして歩んできた町内唯一の高校です。

今回は、猪名川高校を訪ね、お話をうかがいました。

猪名川高校の誕生まで

猪名川高校の開校には、長年の住民の熱意と尽力がありました。昭和23年、定時制の県立川西高校の中谷分校が中谷中学校に、六瀬分校が六瀬中学校に併設されました。同37年には両分校が合併し猪名川分校となり、現在のようあいセンターの敷地に独立校舎で開校しました。

同39年には全日制の伊丹高校猪名川分校となり、同50年、待望の独立した全日制的県立猪名川高校が誕生し、9月には現在の場所の

団結力と躍動感あふれる体育祭

6月12日、梅雨の合間の初夏を感じる日差しの中、体育祭が開催され、生徒達は騎馬戦や棒引き・リレーなど、各種競技に力一杯取り組んでいました。また、学年を縦割りにして行われるブロック合戦(応援合戦)では、3年生が中心となって全学年が団結し、趣向を凝らしたすばらしい演技を披露していました。

生徒会長の宮本将陽さんは「体育祭・文化祭・球技大会などの行事は、生徒会が積極的に企画や運営に関わって盛り上げています。緑がいっぱいの恵まれた環境の中で、元気で活力のある生徒が多いと思います」と笑顔で話していました。

紫合へ移転しました。これまでに8千850人が卒業し、卒業生には、シンガーソングライターの橘いずみさん、サッカー選手の池田達哉さんのように活躍している人が各方面にいます。

常勤講師を招いたり、希望者は猪名川保育園で実習を行うなど、豊かな心を育て、地域に貢献する人材の育成を行っています。そして、来年度から導入

さらなる学力向上をめざして

現在、猪名川高校では、生徒の基礎学力を向上させるため「猪名高タイム」と呼ばれる朝の学習時間を活用し、小テストなどを実施しています。また、少人数指導や習熟度別指導、体験的学習を行い、それぞれの能力・適性を高めるよう指導しています。

特色ある学校づくり

猪名川高校では、外部か

より視野を広げるために ~ 語学研修 ~

猪名川高校は、オーストラリアのマウントクリア高校と姉妹校提携をしています。両校ではホームステイを通して語学研修を行い、現在は2人が長期留学をしています。9月にはマウントクリア高校から22人の生徒が、短期留学で猪名川町を訪れる予定です。

国際交流を積極的に推進し、国際化時代に対応できる生徒の育成に努めています。

育や福祉について基礎的な事柄を学ぶことができます。さらに、地域の幼稚園や保育園で実習を積み重ね、近隣の大学・短期大学と連携し、幼児教育専門のスタッフの指導を受けることができます。



猪名川保育園での保育実習

オープンハイスクール開催



8月22日(金)に、中学生とその保護者や先生を対象に、体験授業や部活動の見学などができるオープンハイスクールが開催されます。ぜひ実際に訪れて、猪名川高校の雰囲気を感じてください。また、9月30日(火)には、保護者対象の第2回オープンハイスクールも予定されています。

部活動で充実した毎日

猪名川高校では、平成19年度の1年生から部活動に全員入部することになり、これまで以上に活発な活動が行われるようになりました。



強豪のレスリング部

15ある運動部では、レスリング部が毎年全国大会や国体に出場し、陸上競技部も2年連続で近畿大会に出場するなど、優秀な成績を残しています。

文化部は10部あり、吹奏楽部が昨年度の県大会で銀賞奨励賞を獲得したほか、放送部も昨年度の近畿高等学校総合文化祭に参加するなど活躍しています。



熱心に練習する吹奏楽部の皆さん

放課後、熱気いっぱいの音楽教室では吹奏楽部の練習が行われていました。部長の百々奈津美さんは「部活動を通して先輩・後輩が仲良くなり、みんなで心をつなげてがんばっています」とコンクールに向けて練習に励んでいました。

後編 編集集



生徒の皆さんに話をうかがい、先生達の熱心で温かい指導のもと、素直でのがびと高校生活を熱心になら、勉強や部活動に熱心に取り組む、しっかりとした将来の夢を持つ生徒が自分の気持ちや意見を表

現するコミュニケーション能力を養う教育に力を入れ、地域の小学生を対象にしたサマーセミナーを毎年実施するなど、地域との交流を大切に行っている猪名川高校。ここから、地域の教育を担う素晴らしい人材がたくさん育つてくれるよう応援したいと思います。

【いながわ特派員】